



三重中央だより

当院の理念(Principle) ● いのちの尊さを自覚し、病む人の身になって、安心で質の高い医療を行います。



テーマ
これが一番
三重中央

●データでみる三重中央医療センター

巻頭言

地域医療における老健の役割

三重県老人保健施設協会 会長
公益社団法人全国老人保健施設協会 会長
介護老人保健施設いこの森 施設長

東 憲太郎



平成26年度の診療報酬改定では、医療機関における在院日数の短縮及び、在宅復帰機能の強化が打ち出されました。この改定により、障害を持ちながらも短期間で医療機関を退院される方々が増加するなど、その受け皿作りが課題となっていますが、国は徹底した在宅志向を貫く

姿勢です。さらにこれは、平成30年度の診療報酬・介護報酬同時改定に向けての布石であり、地域包括ケアシステムの構築を見据えたものとも言えます。この流れは、今後更に加速していくものと思われます。

また、平成24年、27年度の介護報酬改定においては、介護老人保健施設（以下老健）に対し、「在宅復帰支援機能・在宅療養支援機能の強化」が求められることとなりました。老健が在宅復帰に取り組む為には、通所リハビリテーションや訪問リハビリテーション、さらには短期入所療養介護等の在宅支援機能が必須であり、その在宅支援機能を強化しなければ在宅復帰も進みません。一方で老健では、医療と介護の専門職が協働し、各職種が平等に意見を出し合う『多職種平等』の考え方のもと、日々のケアが行われています。包括とは言え、高齢者に過不足のない医療が提供されており、拘束することのない、高齢者に適したリハビリテーションも提供されています。地域包括ケアシステムで求められている医療と介護の連携が、老健では日常的にバランスよく行われているのです。

このように考えていくと、今後の地域医療に

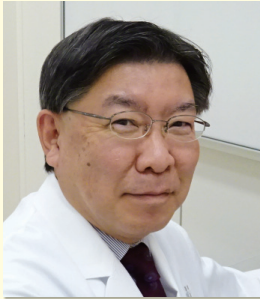
おける老健の役割は、大変重要であると言わざるを得ません。加速する医療の在宅志向には、「在宅医療」と「在宅介護」を両輪とする受け皿が必要です。医療と介護がバランスよく提供できる老健こそが、その受け皿となるべきでしょう。確かに多くの老健が、まだ十分にその機能を有しているとは言えない現状ではあります。しかし今や待った無しの状況もあり、老健は変革すべき時に来ていますし、きっと多くの老健が地域医療の受け皿になってくれると信じています。

「地域に開かれ、頼られる老健」、「医療機関に認知され、利用していただける老健」として、在宅支援機能を充実させていくことは、老健がどんな地域にあらうとも積極的に取り組んでいくべき一番重要な役割であり、課題であると考えています。



はじめに ～DPCデータの若干の解説～

統括診療部長 霜坂 辰一



「これが1番三重中央」の記事がこのあと6つ記載されますが、基になるDPCデータにつき少し解説いたします。DPCは「包括医療費支払い制度」として理解され、1疾患の1入院につき、決められた定額が医療費となる制度です。

たくさんの病気を抱えていても、今回の入院ではどの疾患の治療を主にしたのかにより医療費が決まる仕組みです。このようなDPC制度のもと、電子カルテ導入が進み、全国一律に「疾患」のデータが集まり、統計が可能になってきました。ある地域のある病院ではどのような疾患に対処しているのかが分かります。これはなにも病院間で「1番」を競う統計ではありません。ある地域・病院で特定の疾患がみられなければ、その病気の人がいないのではなく、その疾患を治療する施設がその地域にない可能性があります。逆にたくさん治療していればその疾患の専門家がいて日々その疾患に対処していることが分かります。このようにDPCデータを利用することで、地域の医療の様子を眺め渡すことができ、これからの地域医療の計画にも活かすことができます。

今回は、当院で多く治療している疾患の一部、6疾患を取り上げ、解説いたします。DPCデータは中勢伊賀二次医療圏の本年9月までに入手できた最新のデータである2013年のデータを使用し、患者総数を比率に直しています。また、まだDPC制度を導入していない病院もありますので、そのような病院の情報はデータに反映されません。



三重県の睡眠時無呼吸症候群の診断と治療は、「三重中央」から始まった！

睡眠時無呼吸症候群という病気は、現在のような診断が出来るようになって、未だ40年弱という比較的新しい病気です。日本では1999年に中等症の睡眠時無呼吸症候群の患者が5年以内に20%も死亡する（この数字は早期肺癌と同じくらい死ぬことを意味します）というショッキングな数字が明らかになるまでは、余り注目されていませんでした。



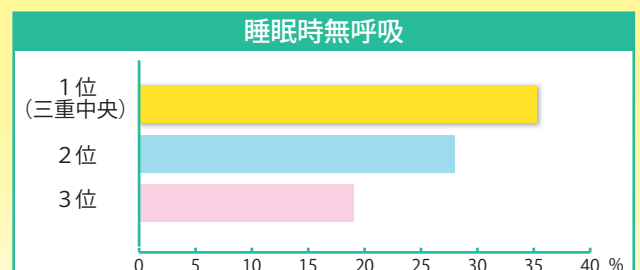
感染対策診療部長・呼吸器内科

井端 英憲

1998年に国立三重中央病院（当院に改称前）が開院した際、三重県に1台も存在しなかった当時最新の睡眠ポリグラフ検査を導入し、三重県初の「スリープラボ（睡眠検査室）」を開設しました。当然、三重県中から検査依頼が殺到し、3～4ヶ月待ちの状態でした。

その頃、睡眠時無呼吸症候群患者による交通事故などがマスコミを賑わかせ、県内他施設でも無呼吸検査を導入するようになり、多くの施設が当院で検査手順の勉強をしていきました。当院は昨年に3台目になる最新検査機器を導入し、既に1600人以上に検査を施行し、600人以上に治療を導入しています。

三重中央医療センターが、三重県初の無呼吸検査施設で、三重県で最も診療経験のある施設で、三重県を代表する老舗施設です。「いびき」や「無呼吸」や「早朝の倦怠感」などが気になったら、まず近医を受診して、三重中央医療センターに紹介して貰って下さい。尚、日本人の睡眠時無呼吸症候群では肥満者は多くありません。痩せた人や、子供や若い女性の無呼吸症が増加しています。睡眠時無呼吸症候群は「死ぬ病気」です。そのまま放置してはいけません。



自信あり、気胸のはなし



呼吸器外科医長
安達 勝利

気胸とは、肺に穴があき肺がしぼんだ状態をいい、当院は中勢伊賀2次医療圏では最も多く気胸手術を行っております。

気胸の種類～①若く、やせて背の高い男性に起こる原発性自然気胸、②肺に病気(肺気腫など)のある人に起こる続発性自然気胸があります。

症状～突然の胸痛、咳嗽、呼吸困難で起こり、安静で治ることが多いですが、症状が悪化する時は救急搬送が必要です。

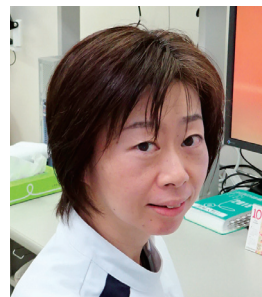
治療～多くは入院後、胸に管を挿入して空気を持続的に抜き、肺を膨らませます。この治療で治らない例、再発例、原因となる部位(嚢胞＝ブラ)がCTでみられる場合は手術を行います。

手術・成績～体に3カ所の穴をあけ、胸腔鏡を用いブラを処理します。一般的に、原発性自然気胸は原因部位を自動縫合器で切除しますが、切除部位の圧の不均衡や変形により、ブラが新生しやすく再発率が高くなります。当科でも同様な傾向であったので、現在は切除せず補強用シートでブラを覆い、結紮・固定しており、この術式では再発例はありません。続発性自然気胸は、切除してもブラが新生しにくく切除後、シート・生体接着糊などで補強しています。胸腔鏡で原因部位が確認困難な場合は、5cm前後の開胸を行い、確実なブラの処理を行っております。手術時間は約1～2時間で、合併症のない場合、術後3日ほどで退院可能です。再発時に他病院で診察を受けた時のため、当院での情報を記した気胸カードを渡しています。

気胸を繰り返すと学業や勤務、日常生活に支障がでるため、当科では手術を中心にしています。できる限り対応ができる体制をとっており、気胸の診断がついた場合には受診して頂くようよろしくお願いします。

切迫早産の兆候を 早期発見すること！

当院は、中南勢地区で発生する、超早産と呼ばれる妊娠28週未満の緊急早産症例のほとんどを扱っています。平成26年度は1000g未満の超未熟児が21例、1000g～1500g未満の児は24例でした。このような小さな赤ちゃんは治療のいかなく、命を落とすこともありますし、重い障害が残る可能性もあります。できるだけ、切迫早産の兆候を早期に発見して治療を開始することが大切です。



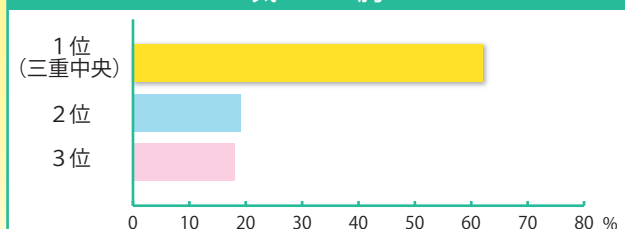
産科・婦人科医師
前川 有香

切迫早産の早期発見には、膣からのエコーで「子宮頸管長」を測定することが有用です。子宮頸管長が短縮するほど早産リスクが高くなり、妊娠24週で子宮頸管長が40mm以上の群と比較した場合、26mm以下では早産の危険性が6.2倍、13mm以下では14倍に上昇すると報告されています。子宮収縮の自覚がない方でも、エコーを見てみなければわかりません。

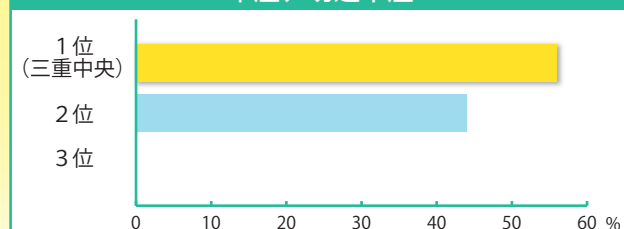
また、感染が早産の原因として重要であり、切迫早産発症の週数が早いほど、感染例が多いことがわかってきました。子宮内感染があると、妊娠を継続すれば胎児感染が悪化しますし、早期娩出すれば児の未熟性が問題となり、妊娠週数が早い場合には苦渋の選択となります。異常な帯下の増加や外陰部の痒み・痛みがあれば、早めに受診してください。また、感染を予防するために、妊娠中の性交渉にはコンドームを使用し、おなかの張りがあれば中止してください。

内診は嫌でしょうが、子宮頸管長の測定と帯下の観察・膣の洗浄が早産の予防・早期発見につながることをご理解下さい。もちろん、性器出血や、痛みを伴う子宮収縮、破水感も、切迫早産の症状です。気になる症状があるけれど、受診が必要かどうかかわからない場合には、まず電話でご相談下さい。

気 胸



早産、切迫早産



頭部外傷後1～2ヶ月、 慢性硬膜下血腫に注意！



脳神経外科医師
種村 浩

「頭を打ってからしばらくしてから具合が悪くなることがある」ということを聞いたことがありますか？その原因となるのが慢性硬膜下血腫です。『慢性』は「ゆっくりと溜まってきた」ということを指します。『硬膜』は頭蓋骨の下で脳を覆っている膜、

『血腫』は血の溜まりのことですので、慢性硬膜下血腫は「ゆっくりと溜まってきた硬膜の下に血の溜まり」ということになります。頭を打ったその日や次の日にはCTを撮影しても何も見つからないのに、ゆっくりと時間をかけて溜まり、やがて症状が出てきます。症状が出るまでの期間としては、頭を打ってから1～2ヵ月くらいが多いようです。高齢者に多く、とくにお酒の好きな男性に起こりやすいと言われています。また、脳梗塞や心筋梗塞予防の薬を内服していると起こりやすいとも言われています。「数日前からふらついています」「数日前から歩けなくなりました」と外来を受診することがほとんどですが、「認知症状が進んだ」「元気がなくなった」というような症状を生じることもあります。たまたま無症状で見つかった場合には自然治癒を期待して経過を見ますが、症状が出てしまっている場合には手術が必要です。局所麻酔を行って3cmほど皮膚を切開し、頭蓋骨に1円玉程度の孔を開けます。ここから血腫を吸い出し脳の圧迫を軽減することで、症状は消失します。手術時間は1時間程度で、入院期間は1週間程度です。症状が出てから手術すれば治りますので、頭を打ったからと言ってCTを何度も繰り返す必要はありませんが、頭を打ってから1～2ヵ月くらいは、慢性硬膜下血腫を生じる可能性を忘れずに様子を見る必要があります。診断はCTで当日にできますので、頭を打ってからしばらくしてから上に挙げたような症状が出てきた場合には、脳神経外科外来を受診してください。

胃潰瘍・十二指腸潰瘍の 大切なはなし

胃潰瘍、十二指腸潰瘍と言う病気を知っていますか？

「潰瘍」とは、皮膚や粘膜などの表面がただれて崩れ落ちている状態のことです。胃潰瘍と十二指腸潰瘍は、合わせて消化性潰瘍と言われています。

胃潰瘍の歴史は古く、古代ギリシャの医者であるヒポクラテスが著書の中で胃潰瘍について言及した記述を残し、マケドニアのアレキサンダー大王に攻め込まれたギリシャの将兵たちが胃潰瘍に苦しんだという伝説が残されています。また、夏目漱石や永井荷風などの文豪も胃潰瘍で命を落としています。

胃潰瘍・十二指腸潰瘍は、ピロリ菌、非ステロイド性抗炎症薬などにより、防御機構が障害されて粘膜が傷つき、そこが胃液の攻撃にさらされることで、胃や十二指腸の粘膜や組織の一部がなくなる病気です。

これにより、胃部の痛みや不快な症状を感じたり、さらに病気の程度が重くなると、その部分から出血して吐血や下血、穿孔、腹膜炎などの症状がおこったりします。（当院では、2014年の1年間に86例（上部消化管内視鏡検査の4%）に止血処置を施行しています）

胃潰瘍・十二指腸潰瘍の診断は、問診、触診、バリウム造影検査、内視鏡検査などによって行われます。

治療は、原因・病状に合わせて薬物療法などが行われます。また、ピロリ菌検査でピロリ菌が見つければ、除菌治療を行います。（本年より尿素呼気試験を院内で行えるようになり、迅速にピロリ菌陽性の診断ができるようになっていきます）

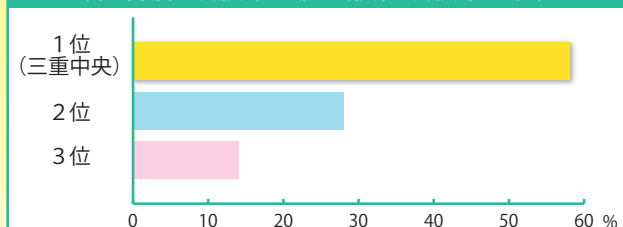
薬物治療を行う場合は、たとえ症状を感じなくなっても、潰瘍が完全に治るまで、医師の指示通りにしっかりと薬を飲み続ける事が大切です。

また、胃に負担をかけない食生活やストレス対策、禁煙は、症状を再発させないために、また、健康な生活を維持するために大切な事です。

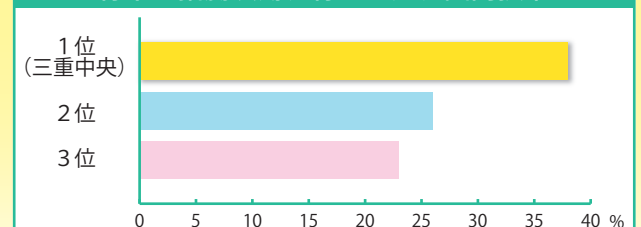


内視鏡センター診療部長・
消化器内科
渡邊 典子

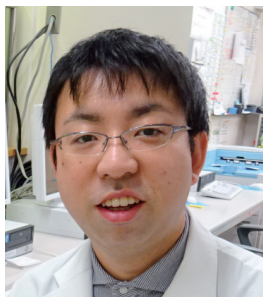
非外傷性硬膜下血腫（慢性硬膜下血腫）



胃十二指腸潰瘍、胃憩室症、幽門狭窄



心筋梗塞との闘い…命を守ります！



循環器内科医師
中谷 仁

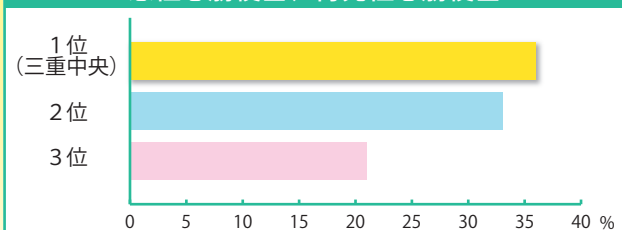
急性心筋梗塞はカテーテル治療などの医療が進歩した現在でも、死亡率の高い重症疾患です。その発症機序は脳梗塞と同様に、動脈硬化によって引き起こされ、ひとたび血管が閉塞すると時間経過とともに心筋が壊死に至ります。壊死に至った心筋をもとに戻

すことは不可能で、重篤なポンプ失調や、重い後遺症を残すことがあります。危険因子としては高血圧症、脂質異常症、糖尿病や喫煙があり、禁煙やこれらの疾患をお持ちの患者様は、しっかりと治療を継続していくことが重要で、心筋梗塞に代表される動脈硬化性疾患の予防につながります。

当院は開院以来、中勢伊賀2次医療圏で急性心筋梗塞治療の中心を担っており、2013年度は心筋梗塞患者様の症例数が最も多い状況です。また心筋梗塞は発症から治療(閉塞血管の解除)までの時間が非常に重要と言われ、その後の経過を大きく左右します。当院では循環器ホットラインという、医療機関からの直通電話を設置し、この治療までの時間短縮に努めています。具体的には電話で心筋梗塞と判断できた場合、患者様の搬送前に様々な準備や、カテーテル室スタッフの招集等ができるというものです。このことで、病院受診から治療までの時間、いわゆるdoor to balloon timeも短いケースが増加しています。

今後も地域の病院や診療所の先生方と連携し、患者様の治療により貢献出来る様に日々努力してまいります。

急性心筋梗塞、再発性心筋梗塞



おわりに

霜坂 辰一

DPCデータやその他の全国規模の膨大なデータの解析により、その地域でどのような医療が行われているかが分かります。データを分析することで、病院や医師の偏在、医療ニーズが把握でき、健全な地域医療を構築するための計画が立てられます。2025年の超高齢化社会を目前に、病院の現状と人口を含めた地域の将来を見つめることで、地域に必要な医療が見えてきます。これが今始まっている地域医療構想(ビジョン)の構築です。個々の病院がそれぞればらばらに頑張る時代ではなく、その得意とするところを伸ばしながら地域全体で連携して、その地域の医療をバランスよく提供する時代に入ってきました。今回の特集は当院が得意とする分野のほんの一部にスポットを当てました。これからはデータをどのように生かしていくかが問われます。三重中央医療センターは公表されている医療データを活用・分析し、地域の医療機関、地域の皆様と協議しながら、地域に必要とされている医療を提供していきます。

青春グラフィティ



風雪快走篇

放射線科技師 川岸 史和

2014年4月に岐阜県の長良医療センターから転勤し1年半が過ぎようとしています。

私は三重県伊勢市出身で、大学卒業までの22年間伊勢に住んでいました。その後、岐阜県で5年間住み、伊勢へ帰ってきました。

診療放射線技師の仕事は一般撮影検査やCT検査、MRI検査など様々ありますが、私は放射線治療業務を主に担当させて頂いております。

さて11月になりますと肌寒くなり、この時期になると私はソワソワし始めます。それは、もうすぐ冬がやってくるからです。私は両親の影響で4歳からスキーを始めました。伊勢に住んでいると雪は珍しく、積もることは滅多にありません。小さいながらも岐阜のスキー場に行ったときのきれいな雪景色の記憶は今でも鮮明に覚えています。もうすでに雪山の虜になっていたのです。その後も、年3回のペースで高校

になるまで冬は家族でスキーに行っていました。高校からスノーボードを始め

て現在まで毎年雪を求めて山へ出かけています。大学では友人と北海道によく行きました。北海道は雪質がとても良く、サラサラなパウダースノーでボードが自分の思うままに操作できるため、上達したような感覚になります。本当はそんなにうまくないのですが・・・この感覚が忘れられず、毎年1回は北海道に出かけています。

昨年も岐阜や長野、新潟、北海道へ、休日はすべて雪山に行きました。体は疲れてヘトヘトになりますが心は満たされ、とても充実した日々を過ごすことができました。

昨年の冬、三重中央医療センターの職員31名でスノーボード旅行へ行き、普段話したことのない方や関わりが少ない職種の方と知り合え、とても有意義な旅行でした。この旅行を通し他職種とコミュニケーションを取りやすくなり、とても仕事がしやすくなりました。これからも連携を深め、チーム一丸となりより質の高い医療を皆様に提供していけるよう努めていきます。



赴任された先生方

7月から小児・新生児科に赴任しました伊藤雄彦と申します。出身は四日市市で、高校から大学卒業までは岡山県倉敷市で過ごしました。

大学卒業後、地元の三重県に戻りましたが、地元を離れて改めて、人の温かさや海と山に囲まれた風土、美味しい食べ物にあふれた三重県の良さを実感しました。

初期研修は四日市市の県立総合医療センターで2年、その後産婦人科・小児科で2年研修を行いました。7月から当院に赴任し、主にNICUを中心に新生児医療に携わらせていただいています。様々な疾患を持った患者様が入院してみえますが、お子様一人一人とその御家族と一緒に、退院後も元気に過ごしていただけるよう、精一杯お手伝いさせていただきたいと思っています。慣れないことも多く、迷惑をかけることもあるかと思いますが、地域の先生方にも御指導の程、宜しくお願い申し上げます。



小児・新生児科

伊藤雄彦



小児・新生児科

大森あゆ美

初めまして。この7月より新生児科（小児科）に赴任して参りました大森あゆ美と申します。3年前にも当院で働かせていただいておりますが、大学病院での勤務を経て、再度当院で働かせていただくこととなりました。

まだまだ未熟者ですが、「こどもたちの笑顔を守ることを」をモットーに日々精進して参りたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

7月より当院に赴任して参りました前山隆智と申します。京都府出身で三重大学医学部卒業後、伊勢（山田）赤十字病院、松阪中央病院を経て当院勤務となりました。学生時代は硬式テニス部に在籍しておりました。もともと野球好き（メインは観の方でしたが）でもあったので、最近は草野球に参加したりしています。関西出身なので野球の話になると「阪神ファンですか？」と聞かれることも多いのですが、水牛のチームのファンです（笑）来年こそは…。

さて、当院では新生児科の勤務となります。これまでの職場では一般小児（風邪などの子たち）をメインに診療していたため、環境が大きく変わりました。一番大きな変化は保護者の方が常に付き添いでいるわけではないのでお話できる時間が限られていることです。赴任から数か月たち環境にも慣れてきましたので、限られた時間の中でもよりきめ細やかな対応ができればと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



小児・新生児科

前山隆智

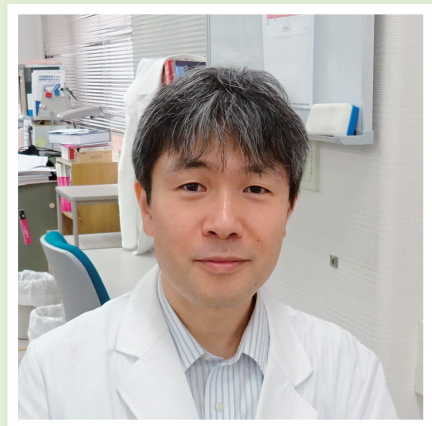


小児・新生児科

光嶋紳吾

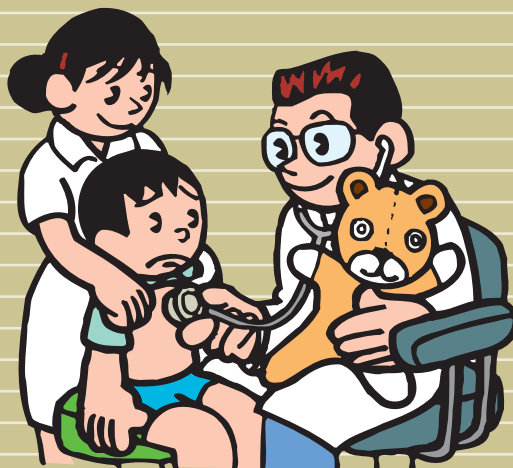
初めまして。この7月から三重中央医療センターに赴任しました新生児科の光嶋紳吾と申します。生まれは岐阜で大学が三重大学です。初期研修は福岡へ行き、また三重県に戻ってきました。好きな食べものはカレーで、3食カレーでも全然問題ありません。新生児というあまり経験のない分野の診療にとまどうことも多いですが、熱い先生方にご指導頂きながら日々もがいています。慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすること多いと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

9月1日より当院神経内科に赴任致しました。前勤務地は同じ国立病院機構の三重病院でした。神経難病慢性期の方が多く長期やレスパイト入院が多かったのですがこちらは今のところ脳梗塞や（髄膜）脳炎の方が多い状況です。とくに脳梗塞では発症してから治療としてできることはわずかでとくに時間が経過してしまうとすでに梗塞になった部位は元に戻らず後遺症が残ってしまいます。日頃の予防の大切さを改めて実感します。様々な外的刺激に対し数十年も一定の恒常性を維持していく生命の働きは驚異的ですがバランスが崩れて恒常性を自力で維持できなくなった場合の脆さも表裏一体といえます。神経疾患には様々な疾患・病態が合併しバランスが崩れてしまうのですがそれを少しでも平穏、快適な状態に近づけられたらと思います。微力ながら少しでも皆様のお役に立てれば幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。



神経内科

賀川 賢



輝くメディカルスタッフたち

医師、看護師以外でも、多くの専門性を持ったスタッフが当院院内で活動しています。その人と仕事にスポットを当てて紹介します。

医療ソーシャルワーカー（医療社会事業専門員） 長田 紗季

皆さん、こんにちは。私たち医療ソーシャルワーカーは①入院受付左隣の地域連携総合相談支援センター内にいます。「入院して退院後は今までと同じような生活は難しいがどうしたらいいのだろう?」「医療費が高額になった場合、支払いをどうしたらいいのだろう。」などの心配事はありませんか? 地域連携総合相談支援センターの内に医療相談室があります。そこで患者様の心配事を解決するために一緒に考えさせてください。相談は基本予約制で入院中の方は病棟看護師から相談室の予約をしていただくことも可能です。主な業務内容は、退院後の生活を安心して過ごせるように介護保険等の案内・患者様の病状に適した転院先、施設の案内・医療費の負担を軽減するために高額療養費等の案内を行なっています。今年から退院調整看護師長1名、退院調整副看護師長1名、医療ソーシャルワーカー4名の6名体制になり、病棟担当制

で退院調整看護師、医療ソーシャルワーカーがペアで対応します。退院調整看護師（医療の専門家）と医療ソーシャルワーカー（福祉の専門家）が一緒に話を聞かせていただくことできめ細やかな対応ができるよう尽力します。私は社会人としても医療ソーシャルワーカーとしても2年目でまだまだ未熟で、患者様に学ばせていただくことも多くあります。大変なこともあります。患者様から「相談してよかった」という言葉を頂くこともあり大変嬉しく思っています。医師や看護師のように患者様の治療はできませんが、今後の方向性について一緒に考えさせていただき少しでも患者様のお役に立てるよう日々努力していきます。どんな些細なことでも一人で抱え込まず気軽にご相談下さい。



シリーズ 医療用語の 基礎知識 12

病院職員が何気なく使用している用語で、普通にはあまり馴染みがない医療用語を分かりやすく解説します。

セカンドオピニオン

セカンドオピニオンという言葉は昨今かなり世間にも浸透してきましたので、聞いたことがない、と

いう方は少ないかと思いますが、でも本当の意味をみなさんご存知ですか?

セカンドオピニオンは、「他病院へ行って主治医以外の医師に診察してもらう」というように解釈されている方が多いと思いますが、いわゆる外来受診とは違う扱いになります。現在の診断、治療方法に対して、主治医以外の医師の意見を聞く行為ですので、「診療」ではなく「相談」という解釈になります。診療ではないので保険証も使えません。つまり全額自費ということになります。料金は病院によって違いますが、相談の時間によって金額が上がっていく体系をとっている病院が多いです。ちなみに当院では60分まで10,800円、以後30分毎に5,400円となっています。

セカンドオピニオンを希望する際に必要なことは、まず主治医に相談して他病院への診療情報提供書を作成してもらうことです。でもこれが難しい、「先生に対して他の病院で診てもらいたいなんて言えない」と思う方が多いことでしょう。でもご安心ください。セカンドオピニオンは病院側にも浸透してきています。

当院でセカンドオピニオンを受けたい時は、（あるいは受ける際は）完全予約制ですので事前に地域医療連携室（Tel 059-259-1211）にお電話をお願いします。また当院から他病院へのセカンドオピニオンを希望される場合は遠慮なく主治医に相談してください。そして、セカンドオピニオンの結果は、今後の治療の参考として、選択肢の1つとして考えてください。

最後に……。2014.1月号から連載をさせていただき、今回で12回目の執筆となりましたが、このたび人事異動でこの病院を離れることとなりました。この号が発行されているころにはもうこの病院にはいません。このコーナーは引き続き存続する予定ですが、私の連載は今回で終了させていただきます。長い間のご愛読???ありがとうございました。



No.12
(医事 伊藤啓之)

がん市民公開講座報告

9月26日（土）アスト津 アストホールにて「男のがんと女のがん」をテーマに前立腺がんと子宮がんについて市民公開講座を開催いたしました。

当日は、老若男女問わず242名の方にご来場いただきました。講演を機に、検診の必要性を再確認していただいた方が多勢おられました。

皆様も、是非定期検診をお受けください。



出前！市民公開講座のお知らせ

●会場：イオン津南ショッピングセンター サンバレー1F サンバレーホール

11月12日(木) 15:00～16:00

●**肺癌の手術療法**

講演：呼吸器外科医長 安達 勝利

12月18日(金) 15:00～16:00

●**心臓突然死に挑む ～原因と治療法～**

講演：循環器内科 新谷 卓也

新春の訪れとともに新!! 出前！市民公開講座メニューが登場します！ 乞うご期待

「クローバー友の会」

会 員 募 集

「クローバー友の会」は地域の皆様と病院が、様々な病気・医療の学習を通して理解を深め合う会として発足しました。賛同いただける方はぜひ会員登録をお願いいたします。登録は無料です。会員には当院から健康に関する様々な情報をお届けします。受付でお声かけください。登録と同時に会員証をお渡しいたします。

たくさん勉強していただいた方には素敵なプレゼントがあります。

記入いただいた個人情報は当会の業務以外には使用せず、安全かつ適切に管理いたします。

三重中央医療センター 地域医療連携室

国立病院機構
三重中央医療センター
クローバー友の会事務局

〒514-1101 三重県津市久居明神町 2158-5
TEL 059-259-1211 内
地域医療連携室

国立病院機構
三重中央医療センター クローバー友の会

会員にご登録いただきありがとうございます。
講演会に参加いただくごとに1スタンプ押印いたします。
(スタンプ数による特典は別紙公表いたします。特典は変わることがあります。)

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20

■会員登録

住所 _____

氏名 _____

電話 _____

編 集 後 記

日に日に秋が深まる季節となりました。

本号では「これが一番三重中央/データでみる三重中央医療センター」をテーマに中勢伊賀地域で当院が担っている各科の役割を掲載しました。これからも地域の医療機関と連携を取りつつ、多くの分野で地域の中心的な役割を果たすべく努力していききたいと思います。

三重中央医療センターは地域の皆様から高い評価と信頼の得られる病院を目指してまいりますので今後ともご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

(落)

発行所

三重中央医療センター

院長 森 本 保

三重県津市久居明神町2158番地5
TEL. 059-259-1211
<http://www.hosp.go.jp/nmch>

●●● 三重中央医療センター連携医療機関紹介 ●●●●●●●

増 井 内 科



西団地に開院して約40年、先代から数えると60年以上津市で診療させていただいており、三重中央医療センターの先生をはじめ近隣の先生方到大変お世話になっています。昨年春より副院長に増井竜太を迎え、今まで以上により専門性をもって

地域医療にあたっています。特に消化管分野はより充実し、内視鏡検査は胃カメラだけでなく大腸カメラも行っています。他、各種検査や一般健診、がん検診も行っていますのでご希望の方はお問い合わせ、またはご来院ください。また、歯科（増井歯科）も併設していますのでご利用ください。

院 長：増井 紘一
副 院 長：増井 竜太
診療科目：内科、循環器科、胃腸科
住 所：〒514-0064 津市長岡町800-501
電 話：059-226-8555
休 診 日：木曜日午後、土曜日午後、日曜日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～13:00	○	○	○	○	○	○	△
16:00～19:00	○	○	○	△	○	△	△

谷 口 耳 鼻 咽 喉 科



津市の北、高田本山のある一身田で耳鼻咽喉科一般に携わっております。

当地に開業して丁度四半世紀になりますが、久居駅前にあった前身の国立津病院で現耳鼻科医長・伊藤由紀子先生の前任として5年程勤務したことがあります。

合併によって名称も三重中央医療センターに変わり、より高度な専門病院になった印象です。

ただ当時のスタッフもまだ少し在籍されているようで、なつかしく愛着のある病院です。

開業当初は小手術もしていましたが、昨今医療事情も変わり現在はほとんどしておりません。

最近三重県では、耳鼻科医そのものが少なくなりマン

パワー不足のために入院治療していただける病院も激減し、大変な時代になっています。

そんな中で、中勢地区の要として手術をはじめ、診断や治療に苦渋する患者さんをいつも適切に取り扱っていただき感謝しています。

開業医として自分の守備範囲を見極め、許容を超える時はすみやかに専門病院を紹介し、精査、治療をしていただくよう常に心がけています。

今後ますます増加するであろう高齢化疾患を含め、少しでも地域医療に貢献できればと考えています。

院 長：谷口 強
副 院 長：谷口 知恵子
診療科目：耳鼻咽喉科
住 所：〒514-0114 津市一身田201
電 話：059-232-8338
休 診 日：木曜日・日曜日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	△	○	○	△
15:00～18:30	○	○	○	△	○	△	△

△ 15:00～17:00

なかせ内科胃腸科



当院は平成10年10月に開院しました。三重県身体障害者総合福祉センターの西200mほどの所にあります。一般内科を中心に、各種健診、がん検診、予防接種など地域医療に必要な診療を行っています。生活習慣病などの慢性疾患はもちろん、専門である胃腸、消化器疾患、気管支喘息などの

呼吸器疾患、急性疾患を含めた診療、上部内視鏡検査などの検査等、かかりつけ医として広く対応できるようにしています。入院などが必要な場合は、三重中央医療センターをはじめ、患者様が希望される病院へ紹介をさせていただきます。

院長：中瀬 勉

診療科目：内科、胃腸・消化器内科、呼吸器内科

住所：〒514-0061 津市一身田上津部田476-1

電話：059-233-6611 Fax：059-233-6612

休診日：木曜日午後、日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	△
15:30～18:30	○	○	○	△	○	△	△

△土曜午後：14:00～17:00

まんのう整形外科

ホームページアドレス：<http://www.myclinic.ne.jp/mannouseikei>



平成21年開院。三重県松阪市 国道23号線と42号線に分かれる小津の交差点から、42号線を松阪駅方面へ三渡橋を渡ってすぐの、亀のマークのピンク色の病院です。三重中央医療センターからはバイパスを使うと便利です。まんのう整形で検索で、HPがわかると思います。

一般的な怪我、骨折の治療はもちろんのこと、主に脊椎疾患、骨粗しょう症、変形性関節症、関節リウマチなどの治療を行っています。じーちゃん、ばーちゃんから孫まで3世代に渡っての治療を心がけています。予約は特にありませんのでお気軽にご来院ください。

坐骨神経痛、ヘルニアの投薬治療、骨粗しょう症の骨塩、採血検査などを行い、骨形成の状態を把握し、各種内服、注

射での治療を行っています。膝、肩などのヒアルロン酸注射。関節リウマチは関連病院との連携、呼吸器内科への連携を行いつつ、MTX、バイオ製剤での加療を主に行っています。

ここ20～30年で日本の平均寿命は90歳に突入するといわれています。平均寝たきり期間は7年間です。男性の寝たきり原因第1位は脳梗塞、女性の寝たきり原因の第1位は骨粗しょう症による骨折です。予防できることはしっかり予防するというのがこれからの日本の医療のすべきことであると思っています。また関節リウマチはしっかり完全寛解が大事だと思います。自分の脚でしっかりと歩ける人生が続くお手伝いをさせていただきます。悪いところがあったら、まず病院で相談してみることが大事です。

院長：萬濃 裕司

診療科目：整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科

住所：〒515-2132 松阪市松崎浦町96-1

電話：0598-51-1775 Fax：0598-50-5105

休診日：木曜日午後・土曜日午後、日曜日、祝祭日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	△	△
15:00～18:30	○	○	○	△	○	△	△

△…9:00～13:00



外来診療担当表

平成27年11月1日現在

診療科名等			月	火	水	木	金	
初診内科 (初診・予約外)		1 診	井端 英憲【呼】	大本 恭裕【呼】	北村 政美【循】	田中 剛史【糖】	川崎 敦【循】	
		2 診	竹内 圭介【消】	中久木 哲也【循】	岡野 智仁【呼】	田中 淳子【循】	後藤 浩之【糖】	
		3 診	新谷 卓也【循】	子日 克宣【消】	十時 利明【消】	渡邊 典子【消】	亀井 昭【消】	
		4 診	中谷 仁【循】	奥田 昌也【糖】	田口 由紀子【消】	倉田 一茂【消】	内藤 雅大【呼】	
		10 診		吉川 恭子【消】				
再診内科 (再診予約のみ)	呼吸器科	5 診				井端 英憲(午後再診)		
	循環器科	5 診	田中 淳子	川崎 敦	新谷 卓也	中久木 哲也(午前再診)	北村 政美	
	呼吸器科	6 診		井端 英憲	井端 英憲	大本 恭裕	大本 恭裕	
	(整形1診)		藤本 源					
	消化器科	7 診	子日 克宣	亀井 昭	渡邊 典子	十時 利明	竹内 圭介	
	内 科	8 診	中久木 哲也【循】	新谷 卓也【循】	後藤 浩之【糖】	田口 由紀子【消】	中谷 仁【循】	
		9 診	後藤 浩之【糖】	田中 剛史【糖】	田中 剛史【糖】	田中 崇【糖】	田中 剛史【糖】	
		10 診			内藤 雅大【呼】	奥田 昌也【糖】	岡野 智仁【呼】	
ペースメーカ チェック		ペースメーカチェック (毎月第1月曜日午後)			ペースメーカチェック (毎月第1木曜日午前)			
神経内科		1 診	北川 長生	賀川 賢(再診予約のみ)	北川 長生	賀川 賢	北川 長生	
		2 診	吉丸 公子	北川 長生(再診予約のみ)	賀川 賢	北川 長生	吉丸 公子	
小児科 (NICUフォロー発達 外来は予約のみ)		午 前	1 診	井戸 正流		井戸 正流	田中 滋己	田中 滋己
			2 診	*NICUフォロー	*NICUフォロー	発達外来	*NICUフォロー	
			3 診		田中 滋己	山本 初実(予約)	井戸 正流	
			4 診	発達外来	発達外来	NICUフォロー	発達外来	
		午 後	1 診	田中 滋己(予約)	乳児健診			予防接種
			2 診	NICUフォロー	2週間・1ヶ月健診	発達外来	NICUフォロー	
			3 診	NICUフォロー	NICUフォロー	山本 初実(予約)	NICUフォロー	(NICUフォロー)
			4 診	発達外来(学童)	NICUフォロー	NICUフォロー	NICUフォロー	発達外来(学童)
外 科		1 診	湯浅 浩行	谷川 寛自	横井 一	信岡 祐	谷川 寛自	
		2 診	横井 一		武内 泰司郎		湯浅 浩行	
緩和ケア外来(予約・紹介のみ)							谷川 寛自	
整形外科 (予約・紹介のみ)		1 診	田中 雅		田中 雅		浅沼 由美子	
		2 診	長倉 剛		横山 弘和		長倉 剛	
		3 診	新谷 健		新谷 健		横山 弘和	
脳神経外科		1 診	霜坂 辰一	石田 藤麿	霜坂 辰一	種村 浩	石田 藤麿	
		2 診		種村 浩(初診)		芝 真人	霜坂 辰一(再診予約のみ)	
脊椎・脊髄外科(予約・紹介のみ)				*水野 正喜	*診療時間は10：00～14：00までとなります。			
呼吸器外科				安達 勝利		樽川 智人	安達 勝利	
心臓血管外科			森本 保		佐藤 友昭		日置 巖雄	
皮膚科(休診)					休 診			
泌尿器科		1 診		加藤 雅史	加藤 雅史(初診)	加藤 雅史	加藤 雅史(初診)	
		2 診		岩本 陽一(初診) (小児泌尿器)	岩本 陽一	岩本 陽一(初診) (小児泌尿器)	岩本 陽一	
産科・婦人科	午前	1 診(初診)	前川 有香	日下 秀人	前田 眞	吉村 公一	澤木 泰仁	
		2 診(婦人科再診)	前田 眞	紀平 力	吉村 公一	紀平 力	日下 秀人	
		3 診(産科再診)	中尾 真大	波多野 英美	前川 有香	中尾 真大	波多野 英美	
		4 診(助産師外来)	毎日、完全予約制(担当は交代制)					
	午後	1 診(産科再診)	前川 有香	日下 秀人	前川 有香	吉村 公一	澤木 泰仁	
		2 診(婦人科再診)	澤木 泰仁	紀平 力	吉村 公一	紀平 力	日下 秀人	
3 診		助産師外来	産後一ヶ月健診	助産師外来	助産師外来	助産師外来		
眼 科			三重大学医師		三重大学医師			
耳鼻咽喉科		午前(初診)			伊藤 由紀子	伊藤 由紀子		
		午前(再診予約のみ)		伊藤 由紀子			伊藤 由紀子	
		午後(再診予約のみ)	伊藤 由紀子	中耳外来		中耳外来		
放射線科(7ブロック)			奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	奥田 康之	
リハビリテーション科			浅沼 由美子	田中 雅	浅沼 由美子	長倉 剛	田中 雅	
歯科・歯科口腔外科			柳瀬 成章	柳瀬 成章	柳瀬 成章	柳瀬 成章	柳瀬 成章	
看護外来(予約のみ)			看護外来 (第1月曜日 透析予防外来)	看護外来 (第3火曜日 透析予防外来)	糖尿病外来	ストーマ外来	フットケア外来	

* 初診及び予約のない再診の方の受付時間は8:30～11:00までです。 * 医師の人事異動・出張等により臨時に代診(休診)となる場合があります。
* 当院のような急性期病院は、病棟入院患者様の処置、手術、検査、回診等があり、外来診療に制限を設けなければならない診療科もあることを御理解ください。

不整脈専門外来	肝炎外来	いびき・無呼吸検査	タバコ障害・COPD精査	ものわずれ外来	乳児健診	予防接種	NICUフォロー
月曜日 午前診療	月曜日 午前診療	月・火曜日 午前診療	月・火・水・金 午前診療	月・金曜日	火曜日 午後診療	金曜日 午後診療	月・火・水・木曜日 午前診療
循環器科(新谷)	消化器科(竹内)	呼吸器科	呼吸器科	神経内科(吉丸)	小児科		小児科(益野)
未破裂脳動脈瘤 の相談	脊椎・脊髄外科専門	肺癌・良性肺腫瘍・ 気胸・縦隔腫瘍・嚢嚢	中耳外来 (予約)	ブレママ外来	おっぱい外来 (予約)	発達外来	緩和ケア外来
金曜日 午前診療 要予約(自費)	火曜日(10時～14時) (要予約・紹介)	火・木・金 午前診療	火・木曜日 午後診療	月・木曜日午後 火曜日午前診療	月・木曜日 午前診療	月・水・木曜日 診療	金曜日 午後診療(要予約)
脳神経外科(石田)	脊椎・脊髄外科(水野)	呼吸器外科	耳鼻咽喉科(伊藤)	産科・婦人科		小児科(山川)	外科(谷川)